

ChromeBook 使用ルール

1 Chromebook 活用の目的

- ① Chromebook (以下 CB) におけるデジタルコンテンツを活用することにより、「できた!わかった!と実感できる授業」や「学びを深める授業」を生徒と教師で共に創ることを目的とし、授業の質を向上させ、確かな学力の定着をめざします。
- ② 学校生活の様々な場面で未来社会を仮想することで、情報社会を生きるために必要な知識や技能を学び、ICT と正しくつきあうことができる附中生をめざします。

2 使用上の注意

- ① 学校内においては、原則先生の管理下において CB の使用をするものとし、

エチケットとマナーを意識し、正しく利用しましょう。トラブルが発生した場合やルールの抜け道をねらった使い方をした場合、厳しく使用を規制するルールが作成されます。

一日の流れ(※随時変更します)

朝登校時	キャビネットから CB をとります。ログイン (キャビネットの解錠)
朝自習	AI ドリルに取り組みます。
朝の会	連絡事項の確認をします。(classroom > 学級活動または学年集会)
1~6限	学習道具としていつでも使えるように準備しておきます。 ※活用については授業者の指示にしたがいます。勝手な操作は、手遊びと同じとみなされ指導を受けます。
昼休み	原則活用を控えます。 ※学習や生徒会活動など必要に応じて利用する場合があります。(許可を申し出ます)
帰りの会后	キャビネットに CB を返却し、充電コードを差します。(左側のコードを使用) (キャビネットの施錠)
放課後	※専門委員会や部活動で使用する場合は、担任に許可を申し出ます。 ※自宅に持ち帰る場合も担任に許可を申し出ます。(現在は禁止)
自宅	自宅の Wi-Fi に接続し、課題等を済ませます。

② アカウント情報の扱い

- 貸与された CB でのみログインできます。
- 発行されたアカウントは卒業まで使用します。ID およびパスワードを記載した用紙は、大切に保管し、第三者に見せません。管理者より指示をするまでパスワードの変更はしません。
- アカウントはその人だけの権利です。他者のアカウントにログインした時点で「不正アクセス」となり法律違反となります。絶対にしてはいけません。ただし附中 ICT 管理権限者が保守点検・動作確認のために生徒アカウントにログインし、操作を行うことがあります。

不正アクセス禁止法(罰則)

第十一条 規定に違反した者は、三年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処する。

- ③ 運用する中で発見した困りや使用に関する細かなルール(共に創るルール)は、今後教師および生徒による ICT 協議会(仮称)を設置し、話し合います。話し合いによる決定事項は、大学および附中の情報規定に基づいて承認の判断を行います。

3 クラウドサービス・ネットモラル

- ①クラウドサービスでは、以下のようなことができます。
 - 作成したデータを安全に保存することができます。
 - スライドなどの資料をつくるときに、みんなで一斉に作業をすることができます。(同時作業)
 - 自分の考えとみんなの考えを比較することができます。
 - 先生から課題が届いたり、それを提出したりすることができます。
- ②情報社会を生きる者としてあたりまえのモラルを身につけましょう。
 - ICTに関する知識や技術は正しく使います。ネット上のトラブルは自己責任が基本です。
 - 他者を誹謗中傷する発言や品位を損なう言動をしないのは、日常生活とかわりません。
 - ネットモラルについては、常にアンテナを高くし、情報収集に努めましょう。

4 付属品の扱い

- CB を円滑に使用するために以下のものについて使用を許可します。自己管理をしてください。ただし使用目的が異なる場合不要物の持ち込みとみなされますので注意してください。
- 【各自で準備するもの】マウス、タッチペン(使用できないものもあるので注意)、イヤフォン
- 【今後家庭で必要になる可能性があるもの】CB を充電するための USB ケーブル (typeC)
- ※連続使用時間が長い場合のみ

5 家庭での使用

- ① 使用の頻度や時間等については、今後保護者と話し合いを持ち決定します。
(例)夜10時以降は利用しない。等
- ② 緊急事態等でリモート授業を行う場合について
 - 学校から指定された時間に指定された方法でアクセスをします。(各 classroom > Meet)
 - 制服を着用します。(身だしなみは学校と同じルールで)
 - 接続しない携帯電話・スマホ・タブレット等の不要物を授業中に扱いません。※手元に置かない。
 - 勝手な発言をしません。※基本的にはミュートにする。発言をする場合のみミュートを解除する。
 - なにか不具合があった場合にはホスト(先生)へチャットで知らせます。
 - 通信障害でミーティングから退出してしまった場合は、接続をし直します。
 - 背景に注意します。※映り込みに注意する。また必要に応じてイヤフォンやマイクを使用する。
Meet 上で背景を変えないようにします。
 - 授業に集中して取り組めるように環境を整えます。

6 その他

- ① メールアドレスについては、ドメイン内のアドレスであり、外部とのやりとりはできません。
- ② 保存はファイルまたは Google ドライブにします。
- ③ 機器は大切に利用します。故障、破損、紛失、盗難等の事由が生じた場合は、速やかに学校に申し出た上で、指示に従ってください。修理等については、学校で対応しますが、故意または重大な過失による破損や紛失の場合は、自己負担となる場合があります。